



体育協会長として25年 近藤さんの貢献に感謝

昭和63年4月から今年3月までの25年間にわたり、NPO法人町体育協会の会長を務めた近藤彰顕さん（81歳、新町）への感謝の会は9月7日、グリーンテージで開催され、各地区体育振興会や体協所属のスポーツ団体、スポーツ指導員など63人が出席し、長年の労苦をねぎらいました。近藤豊美彦町体育協会長が感謝状を贈り、鈴木重男町長が「町民誰もがスポーツを身近に感じられる町に育てていただいた」と功績をたたえました。近藤前会長は「無我夢中で町の体育振興に取り組んできました。多くの関係者の皆さんに支えられた25年間でした」と感謝しました。

町の体育協会長を25年間務め、あいさつする近藤彰顕さん



牛乳の消費拡大を呼び掛ける看板（写真中央）とJA新いわて青年部葛巻中央支部のメンバー

もっと牛乳を飲もう！ 農協青年部が看板設置

JA新いわて青年部葛巻中央支部（辰柳勝之支部長、部員51人）は9月16日、高梨乳業（岩手工場敷地内の国道340号沿いに、牛乳の消費拡大を呼び掛ける手作り看板を設置しました。この日の作業には部員6人が参加。スコップやつるはしを使い深さ約1メートルの穴を2つ掘り、この穴に「くずまき牛乳 牛乳飲んで骨太宣言！」と事前に手作りした高さ約2メートルの立て看板を建立しました。辰柳支部長は「私たちが生産した安全・安心でおいしい牛乳をもっと飲んでほしい。青年部一丸となって牛乳の消費拡大を呼び掛けていきたい」と意気込んでいました。

車いすの先輩から学ぶ 葛巻中で宇別さん講演

葛巻中学校（菊池敏宏校長、生徒77人）は9月18日、同校体育館で「卒業生の生き方に学ぶ」と題した講演会を開催。同校卒業生で四日市在住の宇別貴寛さん（24）が講話しました。中学1年時に突然病気がかり車いす生活になったという宇別さん。18歳のときに車いすバスケットに出会ったことで挫折を乗り越え、現在は盛岡市に通勤しながら競技に打ち込んでいます。宇別さんは「何か熱中できることを見つけて頑張りたい」と後輩にメッセージを送りました。生徒4人が競技を体験。星野紗輝さん（3年）は「シュートがゴールまで届かない。車いすの操作が大変」と車いすの方々が苦勞して生活しているのを実感した様子でした。



車いすバスケットボールを紹介する宇別さん

創立140周年を記念し 葛巻小が航空写真撮影

葛巻小学校（佐々木勝広校長、児童127人）は9月4日、創立140周年を記念し、同校グラウンドで航空写真撮影を行いました。撮影には全児童と教職員、保護者約150人が参加。人と人との間隔を調整しながらグラウンドに描かれた白線の上に整列し、「葛の葉」形の校章を参加者全員で表現。はるか上空の撮影用飛行機に向かって、手を振りながら約1時間の撮影に取り組みました。創立140周年を記念し同校では、PTAがサッカーコート整備などの奉仕作業を行ったほか、今月25日には同校体育館で記念式典が開催されます。



校章の形に整列し、飛行機に手を振りながら撮影に取り組む児童ら（校舎3階から撮影）

食生活改善推進員研修 減塩料理を学び味わう

町食生活改善推進員協議会（柴田幸榮会長、会員112人）は8月26日、今年度2回目となる研修会を行いました。参加した会員は町リサイクルセンターを見学した後、平庭高原の白い森レストランで久慈保健所の岩山啓子主任栄養士による「減塩について」の講話を聴きました。昼食では講師が考案し、^{メニュー}S-1g大会（減塩レシピコンテスト）でグランプリを受賞した「久慈地域★かるしおdeアマノミクス定食」が出され、参加した寺岡ツマさん（69歳、田代）は「味が薄いとは感じなく、とてもおいしい。日頃から家で減塩に取り組んでいるので、このメニューを参考にしたい」と刺激を受けた様子でした。



講師の考案した減塩定食を味わう会員



日用品や食料品などを買い求める来場者でにぎわった会場（旧馬淵小学校）

出張販売で買い物支援 旧馬淵小でにぎわい市

町商工会（吉澤信光会長）主催の出張にぎわい市は9月6日、旧馬淵小学校で開催され、中心市街地や江刈地区の商店など10店舗が出店しました。この出張市は、自宅の近くで手軽に買い物を楽しんでもらおうと、昨年からは江刈地区や田部地区で開催しているもので、今回で4回目の開催となります。屋外では屋台村、体育館では日用品などが販売され、約300人の来場者が店員との会話を弾ませながら、買い物を楽しんでいました。西村ヤスさん（76歳、車門）は「にぎわい市をとても楽しみにしています。なかなか遠くに買い物に行けないので助かります」と笑顔で話しました。